

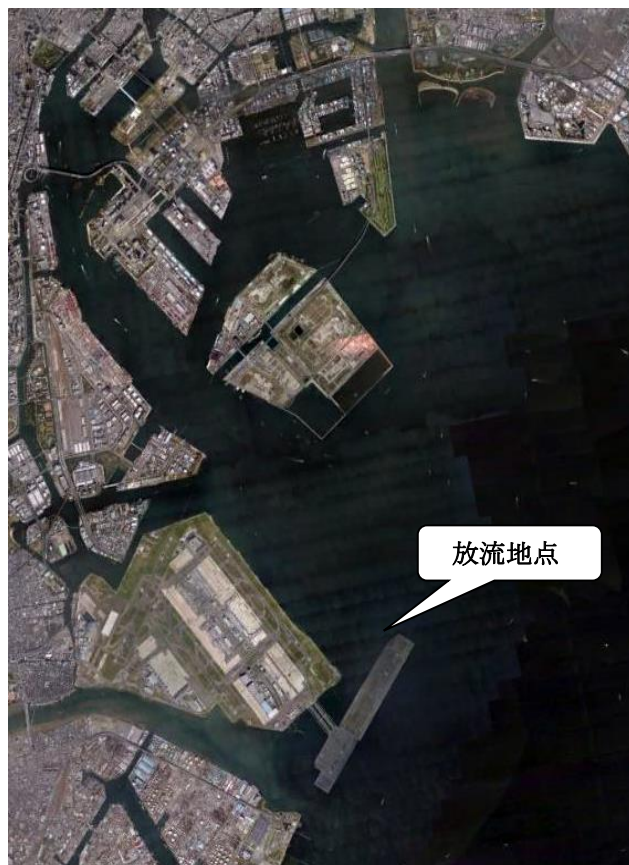
今年もカサゴ稚魚を放流しました。

平成30年9月14日、あいにくの雨模様でしたが、今年もカサゴ稚魚2万尾を放流しました。当協会では平成7年度からカサゴの放流に取り組んでおり、これまでに放流した尾数は累計42万5千尾になりました。

今年の稚魚は、平均全長7.5cm（平均体重3.9g）で、昨年度よりやや大型でした。放流地点は、羽田空港D滑走路の先端部にあるスリット護岸区域です。

今年は、5月と6月に当協会が放流地点周辺で行った桁網調査で初めて5cm前後のカサゴ稚魚が3尾採捕され、これまでに放流した稚魚が親になって生んだ稚魚ではないかと期待を膨らませているところです。

放流には今年も都漁連内湾釣漁協議会(小島一幸 会長)のご協力を頂きました。



漁船の水槽へ稚魚の積み込み



スリット護岸周辺で放流

